



会長 熊谷敏明  
 幹事 菅原慶一  
 会報 氏家良典 江川元徳  
 佐藤幸一 飯塚仁哉

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2572回例会 2016. 11. 17 No.16

### 本日の出席率

・本日の出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・熊谷敏明会長 今週末の地区大会、よろしくお願ひします。加藤亮会員のスピーチに期待致します。
- ・佐藤幸一会員 10月30日開催の“ときめきコンサート”ロータリーの後援と協賛をいただき、成功裡に終了致しました。誠にありがとうございました。
- ・加藤亮会員 本日は、太田陽平会員に代ってスピーチを致します。よろしくお願ひします。
- ・鈴木彦太会員 加藤亮会員の常々の話題を楽しみにご期待申し上げます。
- ・布施孝之会員 加藤亮会員のスピーチに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 太陽の申し子、太田陽平会員のスピーチ楽しみにしていましたが、加藤亮会員の代理スピーチ、頑張ってください。
- ・遠藤光則会員 太田陽平会員代理、加藤亮会員スピーチ楽しみにしています。
- ・猪股育夫会員 太田陽平会員のスピーチ、代役加藤亮会員おつかれさまです。レディーズ会歌舞伎観劇会、妻がお世話様になりました。ありがとうございました。
- ・及川昭宏会員 加藤亮会員、代理スピーチ楽しみにしております。
- ・高橋義文会員 本日、加藤亮会員のスピーチ、楽しみに期待致します。
- ・菅原慶一幹事以下 加藤亮会員のスピーチに期待。  
 村上武彦会員 佐々木崇会員 氏家良典会員  
 菅野幸一郎会員 高田次雄会員 山田直志会員  
 菅原文之会員 佐藤静市会員 佐々木源悦会員  
 岩淵正彦会員 小泉洋会員 高橋利光会員  
 山田正会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員

武川毅会員 岩淵栄市会員 杉田広仁会員  
 佐藤早智子会員 千葉正宏会員 佐藤充彦会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 熊谷敏明会長

11月も半ばになり、寒かったり暖かかったりと寒暖の差が大きくなってきましたが、如何お過ごしでしょうか。私も今月で58歳になりますが、なんか若い頃と比べて寒暖の差に体がついて行けなくなってきたような感じがしております。どうか、皆様、健康には十分にご留意いただきたいと思ひます。

さて、11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団は、1917年アトランタで開催された国際大会において、当時のロータリー会長、アーチ・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で良いことをするための基金を作ろう」と提案したことに始まり、この基金が1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名付けられて、国際ロータリーに組み込まれ、現在に至っているそうです。今年度はちょうど100周年にあたり、各地でいろんな記念イベントが企画されております。また、国際大会もアトランタで開催されることになっております。日本には、公益財団法人ロータリー日本財団があり、国際ロータリーのロータリー財団と同じ目標で活動しております。現在の理事長は茶道の裏千家の千玄室さんであります。

当クラブでも、高橋義文財団委員長の働きかけにより、財団への寄付金も多くの方からご協力いただき、順調に集まっているようですが、今年は財団100周年ということもあり、より多くの寄付金を送りたいと思ひますので、ご理解とご協力をお願いするところであります。

今週末は、大船渡で地区大会が開催されます。登録された方は、一人も欠けることなくご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 幹事報告 菅原慶一幹事

- ・国際ロータリー日本事務局より  
 ポール・ハリスフェローのバッチが届く  
 猪股育夫会員（3回目）
- ・仙台RCより  
 創立80周年記念大会の案内  
 日時 平成29年5月13日(土) 14:00~  
 場所 メトロポリタン・3階ホワイエ
- ・ガバナーエレクト事務所より  
 次年度のクラブ役員キットが届く。
- ・登米市社会福祉協議会より  
 第48回在宅心身障害児者クリスマス会後援依頼  
 日時 12月18日(日) 10:00~14:00  
 場所 ホテルニューグランヴィア

### 各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会（高橋義文委員長）  
 財団100周年ということで皆様に寄付のお願いをいたしましたところ、現在22名のご協力をいただきました。ありがとうございました。又、この度猪股育夫会員が3回目の1,000ドル寄付をされ、本日、バッチが届きました。
- ・親睦活動委員会（千葉正宏委員長）  
 12月18日にクリスマス家族会を開催します。本日、委員会を持ちますので、詳細は後程お知らせ致します。

### ◎バッチ授与

ポール・ハリスフェロー（3回目）猪股育夫会員



猪股育夫会員へ、PHFのバッチ授与

### 今週のスピーチ

「ちょっと大人の租税教室」

#### 加藤 亮会員

若干年齢が下がりますが、高校生レベルでやる租税教室をもとに、皆様に税のお話をさせていただきます。常日頃税金をたくさん納めていらっしゃる皆様でございますが、本日は節約をするのではなくて、むしろ、たくさん納めましょうというお話です。映像を使用して進めさせていただきます。

平成20年から本格的に租税教室を進めております。今までは小学生を対象にアニメをもとにやられておりました。この頃は中学生、そして、高校生にも税の教育をやっております。特に最近「税金を納めましょう」という教育よりも、更に突っ込んで税金の使い方を分かってもらうということが主になっています。小

学校、中学校、高等学校と大体同じ内容になっておりますが、高校生の方が若干難しくなっています。

### ○私達の生活と財政の役割

暮らしの中の税金は、様々なものがありますが、どんな税金があるかと言いますと、所得税、酒税、たばこ税そして消費税等があります。私達の身のまわりには国や都道府県、市町村より公共サービスを受ける施設があります。その中でゴミだとか、警察や消防がありますが、ゴミは所定の袋に入れて所定の場所に置けば、ゴミ収集車がただで持って行ってくれます。警察は手数料を払わなくても身の安全を守ってくれます。

これらはなぜ無料サービスを受けたり、公共施設を利用出来るのか、皆で考えようということです。

暮らしの中で公共サービスや施設を提供するためにはたくさんの費用がかかります。警察、消防、ゴミ収集、福祉など、学校、公園などたくさんの費用がかかります。公共サービスの利用料の徴収が出来なければどうやって賄うのだろうと皆で議論をしてみよう。

何故、税金が必要なのだろう、何故、税を納めなければならないのだろうということで、税にまつわる2つのエピソードを参考に考えてみましょうと言うことです。

1つはアメリカの例です。アメリカ独立戦争を通して「代表なくして課税なし」。18世紀後半アメリカ独立戦争は、イギリスがアメリカ植民地に印紙法を制定したことなど納得出来ないと言うことで始まり、この課税反対運動の中で、パトリック・ヘンリーの「代表なくして課税なし」という言葉が生まれました。この言葉に込められた当時のアメリカの人々の強い意思がきっかけとなり、やがて1776年のアメリカ独立宣言につながります。

もう1つは、日本の例です。日本の場合は、1872年に福沢諭吉が発表した「学問のすゝめ」の中に「税金とは、国と国との約束である」と述べられてあります。「政府は法律を以て悪人を制し、善人は保護する。これ即ち政府の商売なり。この商売をなすには莫大の費なれども政府には米もなく金もなき故、百姓町民より年貢運上を出して政府の勝手方を賄わんと、双方一致の上相談を取極めたり。これ即ち政府と人民の約束なり」と学問のすゝめに載っております。

では、何故納めなければならないのだろうということですが、これは憲法にきちっと定められております。日本国憲法第30条「法律の定めるところにより、納税の義務を負う。国民の三大義務の一つとなっております。税に関する法律、税負担の方法、税の使いみち（予算）は、国民の代表者である議員が決めております。国民は納税をします。国は公共サービスと引き換えにいただきます。

税の本質とは、税は公共サービスの対価である。自らの代表が国の支出の在り方を決めることと、自らが国を支える税金を負担しなければならないことは、表裏一体である。税は使いみちを監視することも、納税者として重要である。民主主義の基本は、政治への参加と国を支える税金を国民が負担することが対になっていることです。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。